

黒木病院だより

しろやま

S H I R O Y A M A

VOL.26

contents



- 黒木病院の理念 ①
- 肝臓専門外来シリーズ②肝細胞癌 ②③
- ドラッグインフォメーション ④
- メディカルフィットネスのべおか通信 ⑤
- 外来診療予約制のご案内・健康だより ⑥



黒木病院の理念

質の高い医療と専門的な知識にもとづいて地域の皆さまの健康づくりに努め優しさと温かみのある病院をめざし地域社会へ貢献します。

マイクロウェーブ凝固法(MCT)

これまでPEITが経皮的治療の中心でしたが、被膜、隔壁により壊死範囲が一定でないという問題点を改善するために経皮的マイクロウェーブ凝固療法(PMCT)が行われるようになってきました。

経皮的に用いられる電極(針)により、一回のマイクロ波照射で長軸2.4cm、短軸1.6cmのラグビーボール状の凝固範囲が得られます。この壊死範囲が狭いという欠点から、2cmの腫瘍でも数回の穿刺、通電が必要で、通常3cmを超えると単独の治療では高い根治性は得られないといわれています。このためPEIT同様に複数本電極を穿刺するmultiple-needle insertion techniqueなどの工夫が必要となります。

ラジオ波凝固法(RFA)

PMCTは電極が目的とする部位に挿入されれば予想通りの壊死範囲が得られ、被膜に関係なく治療効果が得られます。

しかし、その壊死範囲は限られた範囲であり、大きな壊死範囲を得るためには複数本の電極を穿刺するmultiple-needle insertion techniqueなどの工夫が必要でした。このような長所を併せ持ち、欠点が解決される治療法として経皮的ラジオ波焼灼療法(RFA)が開発されました。方法としては他の経皮的治療と同様に経皮的に針を穿刺し腫瘍内に電極を留置します。電極はRITA社のexpandable型電極、Boston Scientific社のLeVeen電極針、Radionics社のCooltip型電極があります。

前2者は穿刺後腫瘍内で複数本の傘型の電極針が開脚し、Cooltip型の形状は針状です。いずれの電極も一回の焼灼で約3cmの壊死範囲が得られますが、傘型の電極針が開脚するタイプのものは病変の存在部位によっては治療が困難な症例も存在します。

肝動脈塞栓術(TACE)

古典的肝細胞癌は動脈血流で支配され、血管造影で多血性腫瘍として描出されてきたため肝動脈塞栓術は従来から切除不能肝細胞癌、切除後再発肝細胞癌の治療の中心的な役割を担ってきました。

しかし、従来の固有肝動脈からの肝動脈塞栓術は塞栓される範囲が広範で、肝機能への影響は無視できず、高度の肝障害を有する症例に対しては適応が限られていました。

最近では使用するカテーテル、microcatheterの開発に伴い、腫瘍の存在する区域、亜区域に選択的にリピオドールを多量に注入し、腫瘍血管のみならず肝門脈枝を塞栓しその有効性を向上させたsegmental TACE、subsegmental TACEが試みられるようになり、腫瘍に対する効果としても良好であると報告されています。

リザーバーを用いた肝動脈内抗癌剤投与による化学療法

肝動脈から抗癌剤を動注する動注療法は局所療法として多くの症例で試みられ、皮下埋め込み型動注システム＝リザーバーを使用し外来でも施行されてきました。対象として他の局所療法(経皮、経血管)の対象とならない進行した症例、あるいは再発予防として肝切除後の症例に施行されます。

肝移植

肝移植は癌、その発生母地としての肝硬変、さらには肝炎自体も根治が期待できる治療法です。肝移植には生体肝移植と脳死肝移植があり、いずれも肝細胞癌に対しては適応が限られています。肝細胞癌が単発である場合には5cm以下、複数個の場合にはそれぞれ3cm以下かつ3個以内、かつ遠隔転移、リンパ節転移、脈管浸潤を認めないものをミラノ基準と呼び、中等度以上の肝硬変かつ、ミラノ基準内の肝細胞癌に対してのみ生体肝移植に保険適応が認められています。

同様に脳死肝移植においても中等度以上の肝硬変かつミラノ基準内の肝細胞癌のみが適応となります。

肝臓について

シリーズ②

肝細胞癌

医師
谷口 雅彦

肝細胞癌は肝臓にできる悪性腫瘍である原発性肝癌の約95%を占める疾患です。肝細胞癌は肝臓にできる癌のことで、肝細胞が癌化し発生するもので胆管細胞が癌化する肝内胆管癌とは区別されます。

原因としてはB型肝炎、C型肝炎ウイルスが発癌に関係すると考えられています。が、現段階では明確な証明はなされていません。

現時点ではB型肝炎ウイルスは直接、発癌に関与していて、C型肝炎ウイルスはウイルスによる慢性炎症を繰り返すことにより、遺伝子の変異が起こり、この蓄積で発癌してくると考えられています。

B型、C型肝炎に罹患している方は肝細胞癌がしやすいハイリスクグループに属しているため、血液検査での腫瘍マーカーの測定、CT、エコーなどの画像診断による定期検診が必要です。これら肝炎ウイルスに感染していない方でも、成人病検診での年一回程度のチェックをお勧めします。

診 断

腫瘍マーカーにはAFP、AFP-L3分画、PIVKA-IIが代表的なものとして挙げられます。

画像診断としてはエコー、CT、MRI、血管造影下CTなどがありますが、スクリーニングとしてはエコー、CTが主に行われます。もし、疑われる所見が認められる場合、精査としてMRI、血管造影下CTを行います。

治 療

治療法としては肝切除、マイクロウェーブ凝固法(MCT)、ラジオ波凝固法(RFA)、エタノール注入療法(PEIT)、肝動脈塞栓術、リザーバーを用いた肝動脈内抗癌剤投与による化学療法、放射線療法、肝移植などがあります。

肝細胞癌の多くは癌の発生母地としての肝硬変が存在します。従って一度肝切除を行っても癌が再発する場合があります。そのような場合には再度肝切除を行うか、あるいは下記のMCT、RFA、TACE、肝移植等を組み合わせて治療を行う、いわゆる集学的治療が行われます。

単独の治療成績としては肝炎と癌の療法の根治が可能となる肝移植が最も優れていますが、肝臓の働き(肝予備能)が保たれている症例では肝切除での成績が良好です。

しかし、悪性度が低い小さな肝細胞癌はマイクロウェーブ凝固法、ラジオ波凝固法、エタノール注入療法でも肝切除に匹敵する成績をあげています。

肝 切 除

肝切除は癌の大きさ、場所、個数、そしてその患者さん自身の肝臓の働き(肝予備能)を加味して術式が決定されます。癌の再発予防のためには肝臓を大きく切除する方が有利ですが、肝予備能が悪い場合(肝硬変)には切除できる容積は限定されてしまいます。従ってその両者の兼ね合いで患者さんにあった切除が選択されます。

通常合併症がなければ術後2週間程度の入院で退院が可能となります。最近では腹腔鏡下での肝切除も少しずつ行われるようになってきました。

エタノール注入療法(PEIT)

PEITは経皮経肝的に針を刺してエタノールを注入し、エタノールの脱水作用と蛋白変性作用による腫瘍細胞の凝固壊死を利用した治療法です。一般的な適応は3cm以内、3個以下です。

花粉症予防

今年も春になり桜だけでなく花粉が舞う季節となりました。毎年花粉症で悩まれる方は多くいらっしゃると思いますが、今回は花粉症予防についてお話します。

■そもそも花粉症とは？■

植物の花粉が、鼻や目などの粘膜に接触する事によって引き起こされ、発作性反復性のくしゃみ、鼻水、鼻詰まり、目のかゆみなどの一連の症状が特徴的な症候群を言います。



花粉症予防は花粉を吸いこまないようにすることが重要

となりますが、全く吸いこまないようにするのは不可能です。そこで少しでも吸いこむ量を抑えることが大切になります。予防としては以下のようなことがあります。

外出時には…

- ① マスク、メガネ、帽子を着用する。
- ② 帰宅したら外で花粉を落として入る。
- ③ 帰宅後は必ず手洗いうがいをする。



室内では…



- ① 室内の掃除をこまめに行う。
- ② 花粉の飛散量が多い時間帯(10:00～15:00の時間帯に飛散)には外出を避ける。
- ③ 外に干した布団は掃除機をかけてから使用する。

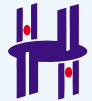
予防をしても花粉症になってしまうこともあると思います。治療する薬としては抗アレルギー薬や抗ヒスタミン薬等があります。

抗ヒスタミン薬では眠気や倦怠感等の副作用が問題になります。仕事で車を運転される方は医師や薬剤師へお尋ね下さい。



メディカル
フィットネス

のべおか通信



厚生労働大臣認定
健康増進施設

黒木病院5F「メディカルフィットネスのべおか」のご案内

「メディカルフィットネスのべおか」は厚生労働省から指定運動療法施設として認可された健康増進施設で、医療機関が運営し、健康の増進のみならず、生活習慣病や寝たきり予防にもご利用いただけます。



〇〇〇 初回運動の流れ 〇〇〇

① 問診・血圧測定



問診確認後、
運動前には必ず血圧を測り
運動可能な状態かを
トレーナーがチェックします。

お客様に合わせて
ウォーキングや自転車、
マシントレーニング等を
トレーナーのアドバイスを
受けながら行います。

② 運動開始



初めての方でも安心! トレーナーがサポートいたします!

〇〇〇 コース・料金 〇〇〇

◎ 初回利用 …… 1,500円

※ 2 回目のご利用から自分にあったコースを選んでいただきます。

★自由コース……たまにしか時間が作れない方にお勧め!

◎ 1 回施設利用 500円 もしくは < ・お得な個人回数券(7 回分) 3,000円
・お得な個人回数券(12 回分) 5,000円

★集中コース……定期的な運動習慣をつけて体を引き締めたい方にお勧め!

◎ 1 ヶ月集中コース 5,000円 もしくは 3 ヶ月集中コース 10,000円

< ※期間中はフリーパスでご利用いただけます >

★予防コース……生活習慣病を改善したい方にお勧め!

◎ 1 ヶ月 4,000円 < ※期間中はフリーパスでご利用いただけます >



詳しくはメディカルフィットネスのべおか **TEL 0982-42-3838** までお電話ください。

外来診療予約制のご案内

当院では、診療待ち時間短縮を図る為に、平成23年度4月より再診(再来)患者様の外来診療予約制を取り入れております。

予約は、数名の方が同じ予約時間枠となる『時間帯予約』となっております。

但し、診療の都合や患者様の症状により予約時間帯にお呼び出来ずお待ちいただく場合がございます。

なお、初診・再診に関わらず電話でのご予約は行っておりません。

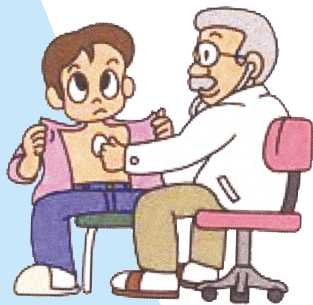
予約のない患者様は直接来院して受診されるようお願い致します。

ご理解・ご協力をお願い致します。



健康だより

年1回健康診断を受けましょう 定期的ながん検診を受けましょう



当院健診部で各種健康診断(半日人間ドック、基本1・2コース)を実施しています。また、特定健診※1、協会けんぽ生活習慣病健診(子宮がん・乳がん検診含む)※1、延岡市がん検診(大腸がん、乳がん、前立腺がん、肝炎ウイルス検査)※2も受診できます。

※1 加入している医療保険者によって受診できない場合があります。

※2 延岡市在住であれば、どなたでも受診できます。ただし、検診内容によって対象年齢が異なります。

➡ 詳しくは**健診部**までお問い合わせください。

発行
所
日
2011年4月吉日
黒木病院
広報委員会

健康診断・人間ドック・生活習慣病予防健診を希望の方

予約制になっております。事前にお電話にてお申し込み下さい。

健診日	月～金曜日(祝日除く)
予約受付時間	平日 8:30～17:00 土曜 8:30～12:00
お問い合わせ申し込み	健診部 TEL 0982-21-6381 FAX 0982-33-8380



財団法人 日本医療機能評価機構 認定病院

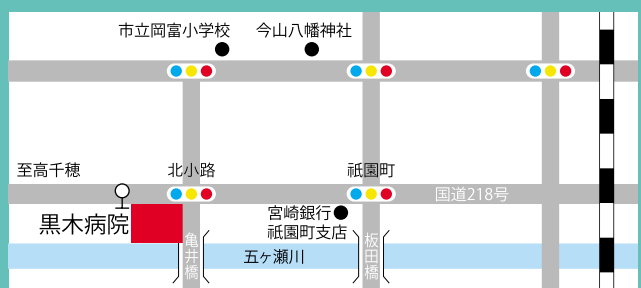
内科・外科・胃腸科・肛門科・放射線科

特定医療法人 健寿会

救急指定

KUROKI 黒木病院

〒882-0041 宮崎県延岡市北小路14番地1
TEL(0982)21-6381 FAX(0982)33-8380
ホームページ <http://www.kuroki-h.or.jp>



診療時間/9:00～12:30(受付11:30まで)
但し、第1・3・5金曜日の14:00から17:00までは、診療できる可能性があるので、お気軽にお問合せ下さい。(※急患の場合は、この限りではありません。)